

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	火災予防活動経費				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民、事業所	目的	住宅防火対策の推進及び各種事業所との協力による防火体制の確保。			
事業概要	町民等の防火思想の普及啓発を図るとともに、住宅用火災警報器の全戸設置や高齢者死傷事故防止対策の推進など、住宅防火対策や、町内の事業所や危険物施設に対する消防法令の遵守指導を行う。					

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0001 火災予防活動経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	105		50		246		135
	概算人件費	1,744		2,085		1,511		826
	トータルコスト	1,849		2,135		1,757		961
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.21 人		826 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				826 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	住宅防火出前講座と事業所連携の防火講習開催数（回）	10	10	1	7	11
②	各種事業所担当者の防火研修派遣者数（人）	5	3	0	0	0

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☒	☐	☐	☐
必然性	☒	☐	☐	☐	☐
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐
実効性	☐	☒	☐	☐	☐
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐
成果・課題等	必要性 必然性 緊急性 実効性 時代即応性 持続可能性 5 4 3 2 1 ・町ホームページ、フェイスブック、広報誌等を活用して注意喚起を実施した。 ・地区の集まりに訪問して講習会を開催。自主防訓練時にもリーフレットを配布した。 ・今後も引き続き関係機関との連携する必要がある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見	1		

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	消防職員教育推進事業（一般経費）				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防の専門的知識と技術を習得した職員を効率的に配置するために教育派遣及び各種資機材取扱い資格の取得に関する計画を元にした教育を行う。			
事業概要	職員の諸手当、旅費、負担金その他被服等を管理し、円滑な業務運営を図る。					

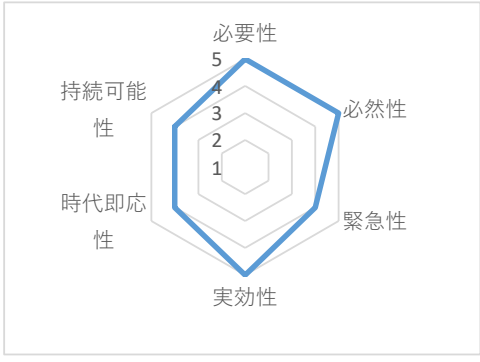
事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0003 一般経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	463		488		583	
	概算人件費	1,717		771		792	
	トータルコスト	2,180		1,259		1,375	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		90		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.17 人		843 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				843 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	計画による教育・資格取得者数（人）	8	7	5	9	7
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	消防職員教育計画に基づき、県消防学校による教育訓練により、職員の専門的な知識や技術の習得により消防力向上を図り、更に消防大学校における幹部としての教育訓練を実施する。					



1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	応急手当普及活動経費				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・事業所	目的	町民や事業関係者に応急手当の普及啓発活動を図り、正しい応急手当や救命処置の正しい知識や技術を習得させる。			
事業概要	町民に講習を実施するとともに、小中学生への普及による応急手当講習受講者の底辺拡大を目指す。					

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0004 応急手当普及活動経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	115		28		136		108
	概算人件費	1,184		1,100		757		718
	トータルコスト	1,299		1,128		893		826
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.17 人		718 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				718 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	小中学生の応急手当講習等の受講者数（人）	200	205	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく			
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い			
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく			
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☐	☒	☐	☐
必然性	☐	☒	☐	☐	☐
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐
実効性	☐	☒	☐	☐	☐
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐
持続可能性	☐	☒	☐	☐	☐
成果・課題等	新型コロナウイルス感染拡大の影響により講習は未実施。実技時間の短縮など要綱改正を踏まえ講習内容の見直しを行い受講しやすい環境を整える。今後は新たな形態で開催を予定している。				

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	警防活動経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	職員、事業所	目的	消防活動に必要な組織運用規定の運用と訓練設備の整備、事業所との連携を図り大規模災害や特殊災害等への対応強化を図る。				
事業概要	消防活動に必要な施設や設備の保守・維持の管理を充実して災害に備える。						

事業予算									
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0005 警防活動経費		
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額	
	直接事業費	485		507		3,694		6,496	
	概算人件費	1,259		2,428		1,759		1,760	
	トータルコスト	1,744		2,935		5,453		8,256	
国庫/県支出金		0		0		0		0	
その他		0		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.38 人		1,760 千円			
		再任用職員		人		千円			
		会計年度任用職員		人		千円			
		その他		人		千円			
		合計				1,760 千円			

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	消防組織計画の改訂	-	改訂	運用	運用	運用
②	事業所との資機材供給や活動に関する協定締結数	0	0	1	1	1
③	津波避難誘導活動マニュアルの策定と運用	-	一部運用	一部運用	一部運用	一部運用

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく			
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い			
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく			
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析						
分析の視点	高い	←→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☒	☐	☐	☐	
必然性	☒	☐	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☒	☐	☐	☐	
実効性	☐	☐	☒	☐	☐	
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	・消防本部、消防団と合同で火災想定訓練や土砂災害訓練を実施するなど連携強化を図る。 ・災害活動時に民間事業所が保有している車両や資機材などの協力を得ることができる協定を締結した。					

Category	Score
必要性	1
必然性	4
緊急性	4
実効性	3
時代即応性	4

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費				所管課	消防課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		●
事業対象	職員	目的	緊急消防援助隊における活動維持と受援時の活動を円滑に行う。				
事業概要	国内で発生した大規模災害等に際して出動要請があった場合、当町が緊急消防援助隊として被災地に出動し、活動するために必要な経費。						

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0007 緊急消防援助隊活動経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	27		89		98		44
	概算人件費	726		2,288		849		843
トータルコスト		753		2,377		947		887
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.19 人		843 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				843 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	消防受援訓練実施回数（回）	1	0	0（計画改定）	0	1
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	緊急消防援助隊による受援訓練を実施。訓練結果を踏まえ検証、評価を行い大規模災害発生時の出動、受援時の課題を解決していく。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

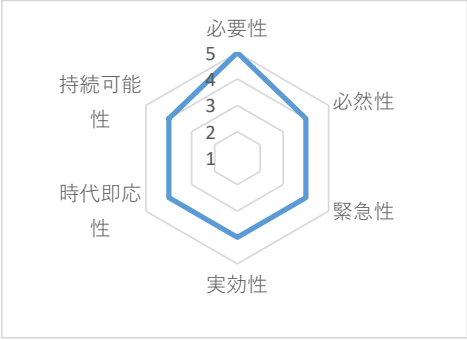
予算等事業名	救急救助活動経費				所管課	消防署
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民、職員、事業所	目的	救急全般及び救助における安定した業務及び充実強化を図る。			
事業概要	各種災害に対する適切な救急救助活動のため、資機材の整備・メンテナンスを行うとともに、局所的集中豪雨及び震災対応資機材の充実強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	08	01	01	大事業 0008 救急救助活動経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
	直接事業費	6,057		21,292		8,489
	概算人件費	2,971		5,400		5,719
	トータルコスト	9,028		26,692		14,208
国庫/県支出金		0		0		0
その他		0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.24 人		977 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		人		千円	
	その他		人		千円	
	合計				977 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	救急体制確保のために連携する高齢者福祉施設数（施設）	1	1	0	0	0
②	破壊家屋救助資機材、水難救助資機材の整備数	4	4	1	1	0
③	救助マニュアルの整備数	3	10	60	0（検証）	0（検証）

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析						
分析の視点	高い	← 3 2 1 →				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	・コロナ禍により高齢者福祉施設との連携は困難であった。 ・資機材の整備については、救助工作車更新事業として一括して行い、救助マニュアルの効果検証を継続的に実施することにより充実強化が図れた。					



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	消防車両管理経費				所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		●
事業対象	町民	目的	車両及び装備品の法令点検や修繕を行い消防業務の維持を図る。				
事業概要	各種災害に対して適切な消防活動を確保するため、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理し、消防・救急体制の充実を図る。						

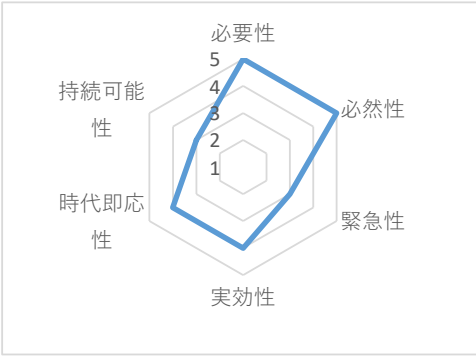
事業予算							
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0009 消防車両管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	5,946		3,984		3,618	
	概算人件費	2,494		2,777		2,252	
トータルコスト		8,440		6,761		5,870	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.43 人		1,732 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				1,732 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	職員による日常点検、法定点検及び車検整備を適切に実施するとともに、必要な緊急修繕に迅速に対応しており、消防活動を維持するために適正な消防・救急車両の維持管理に努めている。					



必要性	必然性	緊急性	実効性	時代即応性
5	4	3	2	1

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	消防・救急車両更新事業				所管課	消防署	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象	町民	目的	最新の車両・資機材の導入して機能強化を図り、多様化する消防救急需要に対応する。				
事業概要	消防力を維持するために計画的に車両更新を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0011 救助工作車・救助資機材更新事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	33,506		0		0		97,138
	概算人件費	792		2,466		2,155		4,808
	トータルコスト	34,298		2,466		2,155		101,946
国庫/県支出金		23,278		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		1.12 人		4,808 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				4,808 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	車両更新整備台数（台）	1	1	0	0	1
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	車両の適正な維持管理と機能向上を目的とした「消防車両等更新計画」に基づき、救助工作車の更新整備を行い消防力の向上が図れた。					



1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	消防団運営経費				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団・事業所	目的	消防団員として長期間活躍できる環境整備と昼間災害や大規模災害時の活動をサポートする機能別消防団員制度を確立する。			
事業概要	災害に備え、条例及び規則に定める消防団を運営管理するための経費。					

事業予算							
会計	01	款項目	08	01	02	大事業	0001 消防団運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	17,601		15,461		14,932	
	概算人件費	493		916		1,339	
トータルコスト		18,094		16,377		16,271	
国庫/県支出金		70		120		0	
その他		2,025		3,712		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.25 人		1,294 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				1,294 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	団員確保に関する各制度の実績数	1	1	2	2	3
②	機能別消防団員制度の検討と運用	-	検討	検討	検討	運用

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	機能別消防団の新設。消防団員の報酬等に係る条例等一部改正を行い処遇改善に努め、消防団員家族カードの配布。1 事業所を消防団協力事業所に指定。団員確保に入団促進などの検討が必要である。				

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

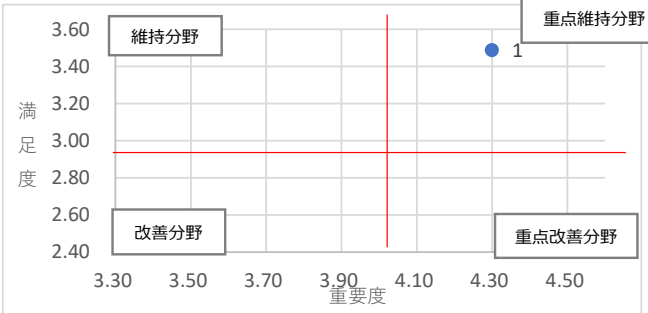
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	分団消防車両管理経費				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団車両の維持管理と幅広い災害へ対応するために車両及び資機材の一律配備を見直し再整備を検討する。			
事業概要	消防団車両の整備及び装備品の強化を図り、出動体制の万全を図る。					

事業予算								
会計	01	款項目	08	01	02	大事業	0002 分団消防車両管理経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	1,676		1,116		1,984		1,284
	概算人件費	724		1,431		544		1,247
	トータルコスト	2,400		2,547		2,528		2,531
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.29 人		1,247 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				1,247 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	車両・資機材の再整備数	0	1	1	1	1 (契約締結)
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☒	☐	☐	☐	
必然性	☐	☒	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐	
実効性	☐	☐	☒	☐	☐	
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	消防団車両 1 台を物品供給契約を締結。引続き、車両更新計画により車両及び資機材の更新を実施する。					

Category	Score
必要性	4
必然性	4
緊急性	3
実効性	3
時代即応性	4

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	分団施設維持管理経費 ※				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	消防団	目的	消防団詰所の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防団の活動拠点である分団詰所を適切に管理し、消防団員の活動環境の向上を図る。					

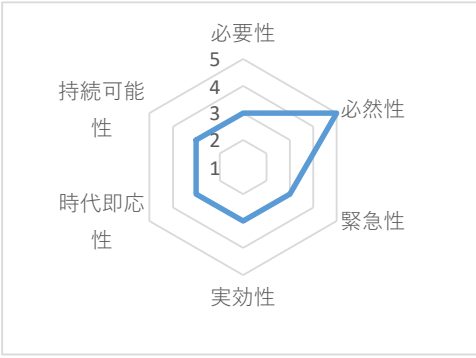
事業予算								
会計	01	款項目	08	01	02	大事業	0003 分団施設維持管理経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	745		843		1,516		774
	概算人件費	459		427		453		534
	トータルコスト	1,204		1,270		1,969		1,308
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		1		3		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.1 人		534 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				534 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☐	☒	☐	☐	
必然性	☒	☐	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐	
実効性	☐	☐	☒	☐	☐	
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	消防団の活動拠点として、改修等を各計画に準じて実施する。					



軸	1	2	3	4	5
必要性	1	2	3	4	5
必然性	2	3	4	5	1
緊急性	3	4	5	1	2
実効性	4	5	1	2	3
時代即応性	5	1	2	3	4

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

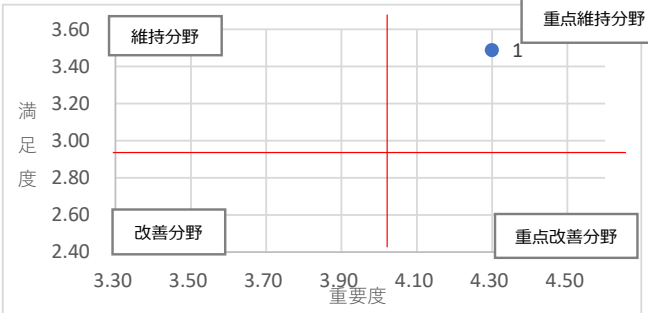
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	消防庁舎維持管理経費 ※				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員	目的	消防庁舎の維持管理と修繕・改修計画の検討をする。			
事業概要	消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る。					

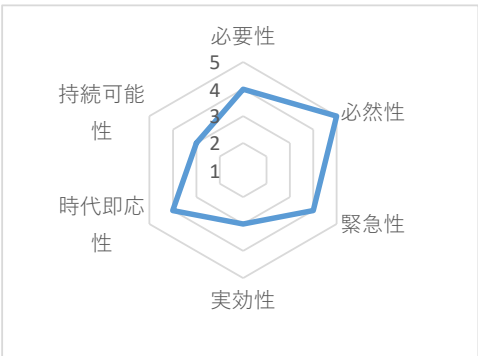
事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0002 消防庁舎維持管理経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	6,649		9,619		7,433		18,885
	概算人件費	1,125		943		985		1,047
	トータルコスト	7,774		10,562		8,418		19,932
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.23 人		1,047 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				1,047 千円		

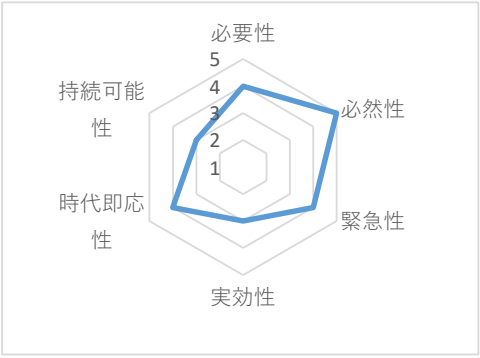
成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	消防・救急活動の充実強化	4.30	3.49
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析						
分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☒	☐	☐	☐	
必然性	☒	☐	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☒	☐	☐	☐	
実効性	☐	☐	☒	☐	☐	
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	消防庁舎大規模改修に向けて、2か年の継続事業初年度として実施設計を行い、次年度も継続的に実施する。					





1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	消防広域化への取組み(消防救急無線広域化・共同化等整備事業)				所管課	消防課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	職員・近隣市町	目的	消防広域化の検討と消防共同指令センターの整備・運用を適切に行い連携強化を図る。			
事業概要	消防通信指令業務の高度化と行政財政の効率化を図ることを目的に、無線機器や指令システム等の整備及び維持管理を共同で行う。					

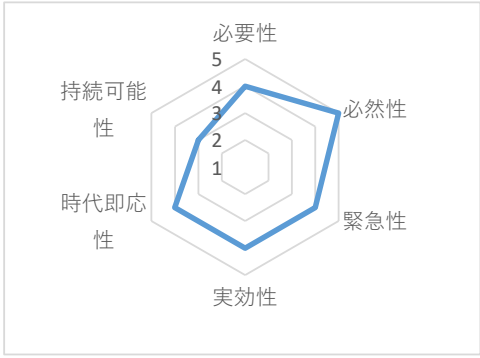
事業予算								
会計	01	款項目	08	01	01	大事業	0006 消防無線広域化・共同化等整備事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	12,470		13,630		14,951		79,375
	概算人件費	942		576		252		1,168
	トータルコスト	13,412		14,206		15,203		80,543
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.23 人		1,168 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				1,168 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	広域化及び連携強化に関する会議・検討会の開催数（回）	3	6	5	5	4
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広域連携の推進	3.83	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析

分析の視点	高い					低い
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☒	☐	☐	☐	
必然性	☒	☐	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☒	☐	☐	☐	
実効性	☐	☒	☐	☐	☐	
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	共同消防指令センターの円滑な運用のため、会議を実施して情報共有を図る。指令台関係の部分更新工事が完了により、適切な維持管理及び運用が行われた。					



軸	スコア
必要性	1
必然性	4
緊急性	3
実効性	4
時代即応性	3

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			